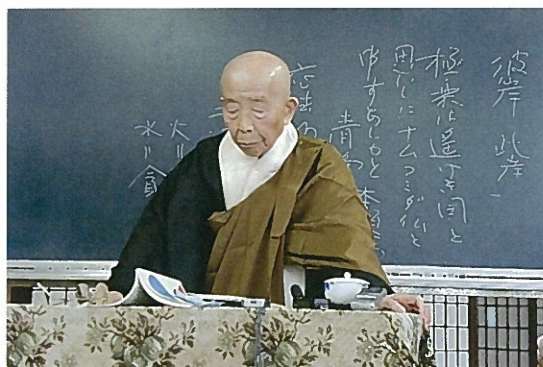


平成29年3月18日（土）の「仏教女性の集い」

長い冬は過ぎました。お墓参りや観光の方々で大賑わいの東山の道中を駆け抜けて、息切らず私を「仏教女性の集い」は今月も落ち着いたお念仏で迎えてくださいました。



今月のご法話は「彼岸」。近藤先生は「彼岸とは私が今ここでいかにありえているか、どのような生き方をしているかを問いかけられていると考え直してみてください。彼岸（浄土）は十億の遙かな先にありながら、南無阿弥陀仏と申す足下にすでに広がっている世界なのではないか。さらに、無量寿経において、浄土（彼岸）は「清浄」と説かれており、選択本願念仏集（念仏往生本願篇）では「清浄」という表現が繰り返され、法然上人は念仏の行は、阿弥陀仏の本願の行であり清浄の行であると理解され、これを選択された。水に本来形がなく、春になれば花が咲くこの自然のありようを、桜が南無阿弥陀仏と咲き、青い空が南無阿弥陀仏と広がって、仏の教えを論じてくれているように思われる。」

この近藤先生のお言葉は、私の心にさっと広まって、その夢のような光景に目がくらむようでした。私を取り巻くあらゆるものが、私に仏の教えを伝えようとしてくれていることを知りました。それに気づいていけたなら間違いなく無上の喜びで、足下に広がる浄土だろうと思います。おぼつかないながらもお念仏をしていれば、仏の力は強いと教えられます。

「念仏」という文字は「今の私の心は仏に通ず」と読めてまいります。ありがたいことです。

ここで、私は、苦しいことも悲しいことも、ろくでもないと思うことも、私自身の心のありようが関係しています。ありのままに見つめる眼差しが欠けていて、仏の教えがそこにあるのに気づかないでいることを反省しないわけにはまいりません。それに気づきなさいということを、近藤先生のお心の浄土が私の心のほこりを払って下さったと深謝します。

近頃では、お念仏を申すと余計に気持が波立ち、動揺することがあり、不安に感じることもありました。

「進む道はあの白道しかありません。」お釈迦様に背中を押され、おそろおそろ半歩、歩めた気持です。



お菓子のご銘は「早桜」

茶話会では、前回「この世でどうしても避けられない老病死滅尽」を習った際に、滅と尽の違いを問われた会友がいました。これについて近藤先生が丁寧にお答え下さった事が、印象に残りました。極楽浄土での生活へのあこがれを強く感じてしまう「お彼岸」の一日でありました。

(参加者感想 M. O)



次回の「仏教女性の集い」は平成29年4月15日です。

「仏教女性の集い」は毎月第3土曜日、1時～4時

参加費 1,000 円 宗教・宗派は問いません。

条件は女性であることだけです。

多数のご参加お待ちしております。

市バス[知恩院前]下車、東へ徒歩 150m

『吉水尼僧庵』(旧尼僧道場跡)で開催致しております。

問い合わせは 隆彦院 075-561-7581 まで



「仏教女性の集い」の様子は浄土宗吉水会のホームページに掲載しております。